

米国人有名デザイナーブランド「ジルスチュアート」と提携 化粧品の新規ライセンス事業を開始

株式会社コーセーは、JILL STUART COSMETICS, LLC(米国・ニューヨーク州)と提携、ファッションブランド「ジルスチュアート」に関する化粧品の新規ライセンス事業を開始します。「ジルスチュアート」は、米国人有名デザイナー“ジルスチュアート氏”がデザインを手掛けるブランドで、これまで洋服や靴などファッションビジネスを中心に展開。この度初めて、コーセーが化粧品開発・製造を行い、今年秋よりメイクアップ製品など27種121品(500～4,500円/税込525～4,725円)を発売することとなりました。化粧品ブランド「ジルスチュアート」は、付加価値の高いハイプレステージブランドとして位置づけ、大都市圏の百貨店を中心に順次導入していきます。

化粧品ブランド「ジルスチュアート」について

「ジルスチュアート」は、デザイナーやアーティストといったバックボーンに価値を感じて化粧品を選ぶ、トレンドに敏感な20代女性をコアターゲットとしており、製品からプロモーションまでコーセーの社名を冠さず展開します。ブランドコンセプトは「INNOCENT SEXY」。少女と大人の狭間にいる女性をイメージし、かわいらしさの中にデザイナーブランドとしての上質さがある製品を開発しました。パッケージデザインや、メイクアップ製品のカラー、香りなど、“ジルスチュアート氏”の感性やアイデアを多く反映させ、細部にまでこだわりました。アイテムの内訳は、口紅などのポイントメイクアップ製品(11種97品 1,500～4,200円/税込 1,575～4,410円)、ファンデーションなどのベースメイクアップ製品(3種11品 3,000～4,500円/税込 3,150～4,725円)、メイク用ブラシなどの化粧雑貨(13品 500～2,500円/税込 525～2,625円)を予定しています。



化粧品ブランド「ジルスチュアート」



2005年2月に開催された
ニューヨークコレクションの様子

ファッションブランド「ジルスチュアート」について

「ジルスチュアート」は、レディスウェアブランドとして1994年に誕生、同年ニューヨークコレクションにデビューしました。旗艦店がある米国をはじめ、日本、フランス、英国、イタリアなど世界12ヶ国・地域、約200店舗で展開しています。ファッション全体の2004年売上高は約1.5億ドル(米ドル・店頭ベース)で、中でも日本の売上シェアは展開国・地域の中でもトップとなっています。ブランドコンセプトは「CUTE, PRETTY, SEXY」で、洋服の他、靴・バッグなどの小物も展開。若い女性を中心に世界的に支持されていますが、そのファッションテイストは特に日本人女性から高い人気を得ています。

ジルスチュアート氏について

「ジルスチュアート」のデザインを手掛ける“ジルスチュアート氏”は、レディスウェアメーカー「ミスター・パンツ(Mister Pants)」を経営する両親のもと米国・ニューヨークで育ちました。15歳で発表したジュエリーとバックの初コレクションが米国高級百貨店「ブルームिंगデールズ」のバイヤーの目に留まりました。これがきっかけで、本格的にデザイン学校「ロードアイランド・スクール・オブ・デザイン (Rhode Island School of Design)」でファッションデザインを学び、1994年には、レディスウェアブランド「ジルスチュアート」を立ち上げました。



ジルスチュアート氏

女性プロジェクト発足について

ブランド導入にあたり、ターゲットに近い感性を生かすため、20～30代の女性16名で構成するプロジェクトチーム「JSP」を発足。研究、商品の企画開発、パッケージデザイン、宣伝広告、店舗イメージ、プロモーション、教育など、チームの意見をダイレクトに反映し、ジルスチュアートならではの世界観を持つ化粧品ブランドを作り上げていきます。

「JSP」とは ジルスチュアート プロジェクト(JILL STUART PROJECT)の略。